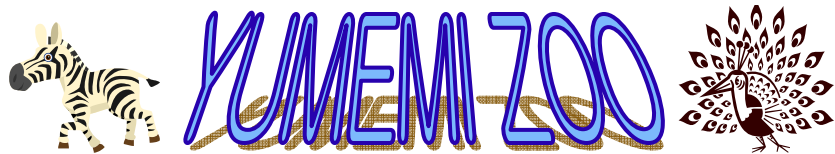


ゆめみにゅーす



季刊 VOL. 27
発行日 平成25年2月4日
発行責任者 夢見ヶ崎動物公園
問い合わせ 044-588-4030

飼育展示数 哺乳類:24種261点
鳥類:26種128点
爬虫類:11種53点
(平成25年1月末日現在)

赤ちゃん紹介



▲だーれだ？

普段は一般の人が入れないバックヤードで、ある鳥の雛を育てています。成長するまで表に出せないため、雛の姿を直接お見せできる機会はなかなか無いのですが…。縞模様のこちらの雛、じつはフサホロホロチョウのこどもです。成鳥の頭部は羽が無く、色も真っ青で特徴的な姿をしていますが、雛はまったく異なります。10月末に生まれたこの雛は、1月末現在、まだ頭もフサフサしています。みなさまのお目にかかるころには、大人の姿になっている予定ですが、目の色が赤くなるのに少し時間がかかるため、よくみると見分けられるかもしれません。



これが…

最終的にこうなります。



レッサーパンダ近況

レッサーパンダのアンとファファのこどもはメスと判明し、名前がカリンに決定しました！たくさんのご応募、ありがとうございました。

おかげさまで餌をたくさん食べ、ウンチをもりもり出し、すくすく育ち、やんちゃで元気な姿を見せてくれています。

先日は川崎市でも大雪が降りましたが、福井県出身の父親ファファはもちろんのこと、寒いのが大好きなレッサーパンダ親子たちは皆、大はしゃぎでした。

もう子どもと大人の区別がつきづらい大きさに成長していますが、まだまだ動きのキレは大人に及ばず、うまく登り降りできなかったり転んだりするカリン。今後とも、我々と一緒に温かく見守ってくださいませ。



第13回 春の動物園まつりのお知らせ

★3月24日(日曜) 10:00~15:00

★雨天中止

★動物リレーガイド、バックヤードツアー、シマウマ・ヤギの餌やり体験、ふれあいコーナーなど、ほかにも色々…

きてね
~♪



★ピックアップ動物★

ワオキツネザル

分類:哺乳綱 サル目 キツネザル科



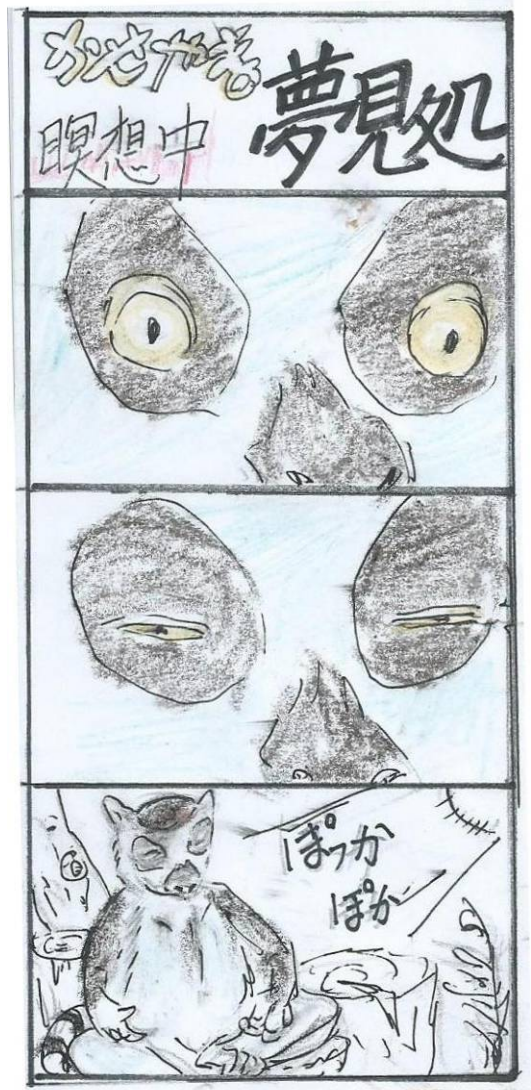
尾に輪の模様があることがその名の由来です。マダガスカル島南部の乾燥林などに生息し、昼間（特に朝夕）活発に活動します。ちなみにマダガスカル島に生息する生物は大部分が固有種（その地域のみにはしか生息しない）です。ワオキツネザルは日本のみならず、世界中の動物園で繁殖に成功し、多くの人に知られるキツネザルの1種です。

野生ではメスを中心とした群れをつくり、メスのほうがオスより優位な場合が多く見られます。また、群れの中の同性どうしても優劣の順序があり、争うこともあります。毛づくろいなどを通じて親和な関係を保っています。寒い時には群れの仲間と身を寄せ合っ団子状になるほか、上半身をすくくと伸ばして日光浴をする姿も見られます。

～シマウマの赤ちゃんが生まれました～



1月24日早朝、ハートマンヤマシマウマのピリーとミドリの間に、元気な赤ちゃんが誕生しました。しばらく母親ミドリは気が立っていると思いますが、温かく見守ってくださいますよう、よろしくお願いいたします。



アカハナグマの展示について

愛くるしいしぐさが人気のアカハナグマのトキエとコジローですが、老齢のため寒さがこたえるようになり、現在バックヤードで療養中です。獣舎の改修を行い、また春になったら展示復帰する予定です。しばらくお待ちください。



「ぬくぬくしています」

～お知らせ～ 長年飼育員として勤務してきた真田幸弘さんが、3月で定年退職を迎えます。

「気がつくとおつという間でした。先輩方には温かく長い目で見えていただき後輩の方々にはご協力をしていただき働けることのできた25年間でした。報恩感謝の気持ちでいっぱいです。動物たちから学んだ感動も、周りに伝えていきたいです。ありがとうございました。(真田幸弘)」

★今回は「獣医の日誌」はお休みします。

★動物たちの主な移動(平成24年11月1日～平成25年1月31日)★

ヤギ(♂1死亡)、コシヤモ(♀1死亡)、シロビタイムジオウム(♂1死亡)、ミノヒキチャボ(♂1死亡)、ショウコク(♀1死亡)、ハートマンヤマシマウマ(♀1繁殖)